

UltraLight-Scenario

○○○○○

時計じかけのブラッド・オレンジ

代表的なアヤカシのひとつ、吸血鬼を取り扱ったシナリオ。テクノロジーとオカルトの融合した、ニューロエイジ・アストラルストーリー。

(掲載日：2017.1.15)

プレアクト情報

○○○

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

ソエジマ (twitter : @fireblade_954)

▼プレイヤー人数

2～3人

▼想定プレイ時間

1～2時間程度

▼シナリオタグ

アストラル、吸血鬼、『TOS』まででプレイ可

●UL シナリオ

本シナリオは「UL (超軽量) シナリオ」だ。UL シナリオについての詳細は以下のサイトを参照のこと。

http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更や RL が調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～40点

▼達成値制限

なし

▼スタイル制限

特になし

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

永き眠りから目覚めた彼女は
御目麗しい時の旅人

人の血を吸うために逆らい
罪を犯さぬ誓いを立てた
牙を失いし吸血姫

人と技術の進歩を信じ
永き眠りから目覚めた彼女は
電脳世紀の眩い夜は
受け入れることができるのか

トーキョー N◎VA THE AXLERATION

『時計じかけのブラッド・オレンジ』

かくて運命の扉は開かれた

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャラクターを使用することを推奨する。

『①アヤカシ』：鋼の人狼（『TOS』p50）

『②バサラ』：炎の退魔師（『TOS』p48）

『③ニューロ』：ニューロキッズ（『TNX』p98）

●特記事項

プレイヤーが2人の場合は『①アヤカシ』と『②バサラ』のみで行う。

●必要な神業

本シナリオでは、ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡するのを防ぐため、キャスト全員で2個以上の防御系神業を所持することを推奨する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート、アストラル、テクノロジー、企業〉などである。

●N◎VAクルード

基本ルールに準じたルール処理と、N◎VAクルード（『CHM』P16）に準じたルール処理が併記されているので、状況に応じてどちらかのルールを選び、その指示に従うこと。

(※1) 君の主の妖精女王

サロン・ドルファン（TOS 21p）のアルドラ・ドルファンのことだ。TOS29p 参照。

(※2) “泣き虫” リーヴィア

ネヴァーランド（TNX46p、63p）のリーダー。TOS30p 参照。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①アヤカシ』→『②バサラ』→『③ニューロ』→『①アヤカシ』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

『①アヤカシ』：サロン・ドルファンのアヤカシ

『②バサラ』：退魔師

『③ニューロ』：ハッカー

①推奨スタイル：アヤカシ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“牙なき吸血姫” エマ

推奨スート：感情

人を眷属にすることは、老いる権利を奪うことだ——その事実を頭を悩まし、エマは人から血を吸うことをやめ、棺桶の中で眠りについた。その彼女が永き眠りから覚める時が来たと、君の主の妖精女王（※1）は言う。電脳世紀のアヤカシとして、この世界のルールを教える必要がある。

【PS：エマの生き方を手伝う】

②推奨スタイル：バサラ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“教授” カルネイロ

推奨スート：理性

吸血鬼の専門家“教授”カルネイロは、君もアドバイスを受けたことがある恩人だ。個人所有のラボに引きこもり、重化学スモッグ越しの日の光すら浴びない変わり者だが、そんな彼女の失踪はそのまましておけない大事件だ。彼女を探し出すため、君は災厄の街に向かうことになった。

【PS：カルネイロを探し出す】

③推奨スタイル：ニューロ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“泣き虫” リーヴィア（※2）

推奨スート：感情

子どもたちの国・ネヴァーランドのもう1つの顔は、技術競争の最前線だ。天才児たちが企業に切り売りしている技術に目をつけ、声をかけてきたのが悪い大人たちのメガコーバだ。「まるで吸血鬼だった」と怯える子供たちのため、ネヴァーランドのリーダー・リーヴィアは君を呼び出した。

【PS：ネヴァーランドの平和を守る】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

吸血鬼エマは数多くの人間の血を吸い、眷属としてきた。その一人がカルネイロだ。エマの忠実な僕となったカルネイロもまたレッサヴァンパイアとして永遠を手に入れ、人間の世界を捨てる苦渋の決断を選んだ。

カルネイロの苦しみを自分の責と悩んだエマは、二度と人の血を吸わず、カルネイロのような人間を出さないことを決意。人工血液なども試すが巧いはず、最後に下した決断は「技術の進歩を信じて眠りにつく」というものだった。

そして永き刻が経ち——エマは再び目覚める時が来た。この日に備えてカルネイロは研究者の生き方を選び、吸血鬼が血を吸わずに生きる技術の研究に挑んでいた。そんなカルネイロの技術に狙いをつけ、彼女を攫ったのがヒラサカだった。

エマの手伝いを命じられた『①アヤカシ』とカルネイロの友人の『②バサラ』、ヒラサカの陰謀に巻き込まれた『③ニューロ』は、カルネイロの行方を追ってヒラサカのラボを目指すことになる。ヒラサカを倒し、カルネイロを救出すればセッション終了となる。

■クライマックスの条件

「●イベント5：電腦世紀の夜を翔ける」終了後。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：電腦世紀のアヤカシ事情

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：不可

◆解説

アルドラから依頼を請けるシーン。〈コネ〉であるエマはリサーチフェイズの最初のシーンに登場する。

◆描写

アサクサの会員制高級クラブ“サロン・ドルファン”。そこは電腦世紀に生きるアヤカシたちが必要な人間との接触を避けるために結成したアヤカシたちのコミュニティだ。サロン・ドルファンに君を招いたのは、サロンの女王アルドラ・ドルファン。君に頼みごとがあるという。

▼セリフ：アルドラ・ドルファン

「私の友人にエマという娘がいるのですが、その世話をおあなたにお願いしようと思います」

「彼女は変わり者で……人の血を吸うのをやめて、空腹から眠りにつくことにした、少し珍しい吸血鬼なんです」

「目を覚ますのも久しぶりだから、サロンの流儀をしっかり教えてさしあげて」

◆結末

アルドラはエマが眠る場所を記した、(この時代には珍しい!)紙のメモと、鍵を渡す。シーン終了。

●オープニング2：教授の失踪

シーンプレイヤー：『②バサラ』

登場：不可

◆解説

カルネイロと会話。

◆描写

『②バサラ』がよく世話になっている吸血鬼の専門家・カルネイロからコールがある。先日依頼した件(*3)だろうか。

「ねえ『②バサラ』、ちょっと話聞いてくれる？」

▼セリフ：“教授”カルネイロ

「吸血鬼って鏡に映らないでしょう？これ、一説には魂と肉体の結びつきが弱いからだと言われてるんだけど、それを応用して隠密性を高くするサイコアプリを開発してるの。私、これを“靈魂剝離迷彩”って名付けたんだけど(以下原理の説明)」

「(一通り原理を説明する)あ、ごめんさい。つい夢中になっちゃって。この前頼まれた件だけど、明後日きてくれるかしら？今日明日はちょっと忙しそうなの」

◆結末

約束の日。『②バサラ』はイエローエリアにあるカルネイロのラボに向かった。彼女は不在で、荒らされた痕跡のみが残されていた。

(*3) 先日依頼した件

『②バサラ』がカルネイロを訪ねる理由となれば何でもいい。「アヤカシに関する情報提供」「マジックアイテムの調達・修理」から「デートの約束」など、色々ある。困ったら『②バサラ』のプレイヤーに相談しよう。

●オープニング3：吸血騒動

シーンプレイヤー：『③ニューロ』

登場：不可

◆解説

“泣き虫”リーヴィアから依頼を受ける。

◆描写

行き場のない子供たちの楽園ネヴァーランド。大人顔負けの技術力を持つ天才児の発明は、この楽園の大きな収入の1つだ。そこに目をつけてきた悪い大人たちをどうにかしてほしい——それがネヴァーランドのリーダー“泣き虫”リーヴィアからの依頼だった。

▼セリフ：“泣き虫”リーヴィア

「ヒラサカという企業の人がかかなり強引で……しかも外見が吸血鬼っぽいだなんて言って、みんな怯えてるのです」

「お願いします。ヒラサカの人が寄り付かないようにしてほしいのです」

◆結末

リーヴィアは『③ニューロ』に依頼料5報酬点を先払いする。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：吸血姫、目覚める

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場：不可(*4) / SR：イエロー

◆解説

『①アヤカシ』とエマが出会うシーン。

◆描写

サロン・ドルファン近くにあるその邸宅は一見するとお洒落なカフェにも見え、不思議とアサクサの街並みに溶け込んでいた。アルドラのメモによれば、この邸宅の地下に彼女は安置されているという。

邸宅に入ると、まず目に入ったのは荒れはてたエントランスだ。構わずに秘密の階段から地下に向かい、安置室の扉を開けると、そこには大きな棺が1つ。

棺の内側から開き、1人の少女がむくりと起き上がった。

▼セリフ：“牙なき吸血姫”エマ

「ふぁ～あ……よく寝た。おはよう。もしかしてドラちゃんの友達？」

「私はエマ。お腹がすくから寝ることにしたの。よろしくね！」

「ねえ、どれだけ世界は変わったのかな？ まだみんなスマホとか使ってる？ 車は空を飛ぶようになった？ 火星に人は住んでる？」

◆結末

目覚めたばかりの少女は元気が有り余っているようだ。

「ねえ、ところで1階にカルネイロは来てなかった？ 約束、忘れちゃったかなあ……」

彼女は寂しそうに笑うと、1階に上がろうと提案する。

(*4) 登場：不可

地下室の存在はカルネイロが《完全偽装》しているため、知らされた人間しか入ることはできない。アルドラから聞いた『①アヤカシ』は入ることができる。

No Image

▼設定

「私、もう眷属はいらないよ」

一人称：私、二人称：君、あなた。全体的に幼い気持ちは通っている頑固者。

吸血鬼の少女。自分が吸血鬼の眷属にしたことで人間の世界と別れを告げたカルネイロに罪悪感を感じており、人間の血を吸うのをやめることを決意。サイバーウェアの進歩により吸血鬼が血を吸わずとも生きていける未来を信じ、眠りにつく。

▼神業

《霧散》のみ使用する。

「“牙なき吸血姫”エマ

アヤカシ、マネキン◎、ハイランダー●

No Image

▼設定

「エマ様の望みを叶えること。それが私の望みです」

一人称：私、二人称：君、あなた。エマのことは「エマ様」。理知的な印象。

マジックアイテムの製作者で、吸血鬼が専門。エマに血を吸われており、自らもレッサーヴァンパイアである。

エマの望みを叶えるため、エマが眠りについた後は研究者になっている。

▼神業

《完全偽装》のみ使用する。

「“教授”カルネイロ

アヤカシ、タタラ◎、クグツ●

●イベント2：洋館の謎

条件：アサクサの洋館へ向かった

シーンプレイヤー：『②バサラ』

登場：〈社会：ストリート〉／SR：イエロー

※『①アヤカシ』は自動登場

◆解説

『②バサラ』がアサクサの洋館のアドレスに向かうと発生。【アサクサの洋館の痕跡】について調べることができる。

『①アヤカシ』とエマはこのシーンは判定なしで登場可能。

◆描写

『②バサラ』が向かった洋館は一見するとお洒落なカフェにも見え、不思議とアサクサの街並みに溶け込んでいた。

まず目に入ったのは荒れはてたエントランスだ。手入れはされているようだが、台風でも来たかのような荒れ具合だ（【アサクサの洋館の痕跡】が調査可能になる）。

（『①アヤカシ』が登場する）不意に本棚ががたっと音を立てた。本棚がスライドし、今まで隠されていた階段が現れる。そこから現れたのは『①アヤカシ』と少女だった。

▼セリフ：“牙なき吸血姫” エマ

「誰かいいる……カルネイロ？ あっ……違う……」

「カルネイロを知ってるの？ 彼女はね、私が眠る前からの友達なの！ 目を覚ましたら会う約束してるんだ！」

◆結末

『①アヤカシ』と『②バサラ』が合流し、情報交換等を終えたらシーン終了。

●イベント3：洋館内の戦闘

条件：セキュリティカメラのデータを解析した

シーンプレイヤー：『③ニューロ』

登場：場所による

◆解説

セキュリティカメラのデータを解析すると発生する。このシーン内で巫女装束の女性（*5）（“無風剣”御神楽風）は《天変地異》と《完全偽装》を使用する（*6）。

◆描写

邸宅に現れるカルネイロ。片付いている邸宅に満足気。

「ハウスキーパーはちゃんとやってくれたみたいね。さて、エマ様が来る前に資料をまとめておかないと……」

「何の資料か、大変興味があるぞ。“教授”よ」

色白の男と巫女装束の女が現れる。カルネイロが睨みつける。

「これは失礼。私はヒラサカのエージェント“ルドヴィコ”。優秀な頭脳を求めている。私とともに来て、仕えよ」

「私には全てを捧げる主が既にいます。嫌だと言ったら？」

巫女が抜刀して切りかかる。人間業とは思えない動きでカルネイロが避けた先に巫女は《天変地異》を用いると、カルネイロの周囲の空気が固形物のように動きを止め、拘束した。

「“教授”よ。あまり聞き分けが悪いようなら、ヒラサカのラボで君を可愛がり、下僕にしてみたいのだが……（首筋をめくり、吸血痕を確認）これはこれは！ なるほど、そういうことか！ 君も吸血鬼だな？」

◆処理

【ヒラサカ】【“ルドヴィコ”】について調査可能になる。

◆結末

「ラボに連れて行くぞ。あと、この女のラボを漁れ。何か面白いものがあるかもしれない」

“ルドヴィコ”と名乗った男が電腦越しに指示を出す。巫女所属の女性がセキュリティカメラに対して言霊を呟く。機能が停止する。

（*5）巫女装束の女性

リサーチフェイズでやる事がなくなった場合などはプレイヤーが調査を希望するかもしれない。その場合は〈社会：ストリート、アストラル〉で目標値12とし、成功すればゲストデータの説明の部分を伝えること。

（*6）《天変地異》と《完全偽装》を使用する

《天変地異》はカルネイロとの戦闘で使う（特に効果はなく、演出として扱う）。〈元力：疾風（負）〉の力を使い、カルネイロの周囲の空気の流れを止め、拘束する。

《完全偽装》はセキュリティカメラのデータを破壊するために使う。言霊の力を用い、カメラの電量に働きかけ、記録を抹消する。

●イベント4：怒れる吸血姫

条件：『●イベント3：洋館内の戦闘』の直後

シーンプレイヤー：『①アヤカシ』

登場／SR：場所による

◆解説

襲われたカルネイロの映像を見て、エマがカルネイロを取り返しに行く。エマは《霧散》で退場する。

◆描写

映像を見て震えるエマ。『①アヤカシ』に詰め寄ると、彼女は声を荒げる。

▼セリフ：“牙なき吸血姫” エマ

「『①アヤカシ』、ねえ、なんなのアレ！」

「あれがヒラサカ……許さない……私のカルネイロを！ 絶対に許さない！」

◆結末

エマの背中から巨大な蝙蝠の羽が飛び出す。『①アヤカシ』たちの静止も聞かず、彼女は夜の街へと飛び出していった。

エマは《霧散》を使用してシーンから退場する。

●イベント5：電腦世紀の夜を翔ける

条件：「●イベント4：吸血姫の怒り」の直後

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

エマの回想と、ヒラサカのラボに向かうまでのシーン。

◆描写

カルネイロに手紙が届く。人としての生き方を捨てたカルネイロは年を取らず、誰とも会わない。手紙でのみ、知人の近況を知る毎日が続いたが、それも最後だ。既に彼女の知人はすべてこの世を去ったことを告げる手紙だった。

「私のせいで、友達と一緒にいられなくなるなんて……カルネイロ。人間はお酒やタバコをやめる方法があるんですよ。私、人の血を吸うのをやめられるかな。輸血パックや人工血液で我慢するから！」
「私はエマさまにお仕えてきて幸せですよ。ですから、そんな無理はなさらなくても……」

こうしてエマは人の血を吸うのをやめた。しかし日に日に彼女はやつれていった。足元がおぼつかない彼女に寄り添うカルネイロに、エマは無理して笑顔を向ける。

「大丈夫、大丈夫だから！ 輸血パックで我慢できるよ、私」

「……エマ様。未来になればエマ様の望みをかなえる技術があるかもしれません。それまで少しお眠りになっては如何ですか？ 私はその間、研究者になってみようかと思っています」

こうしてエマは眠りについた。今となってはカルネイロは、エマの下僕などではない。親友なのだ。

その親友を取り戻すべく、彼女は災厄の街の夜を翔ける。いつしか吸血姫のもとには蝙蝠たちが集っていた。

▼セリフ：“牙なき吸血姫” エマ

「ねえ、みんな！ ヒラサカのラボの場所を教えて。私の友達を取り返しに行くの！」

「そう……わかったわ。カルネイロ、すぐ行くわ！」

◆結末

吸血姫は夜の闇に消える。シーン終了。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることができる情報項目は以下のとおり。

『①アヤカシ』：【“牙なき吸血姫” エマ】

『②バサラ』：【“教授” カルネイロ】

『③ニューロ』：【“ルドヴィコ”】

なお情報項目名の頭にある記号は、N◎VA クルードにおいて、その情報を「能力判定」で調べる場合に使用するスートを表している。

各情報の頭の数字は通常の判定での目標値、() 中の文字はN◎VA クルードでの目標となる判定結果序列だ。

(成：通常の成功／劇：劇的な成功／A：決定的成功)

♣ “牙なき吸血姫” エマ

〈社会：アストラル〉〈コネ：“牙なき吸血姫” エマ〉

8 (成) 棺桶の中で長い年月を過ごし、目を覚ました吸血鬼。

10 (成) 人間を吸血鬼とすることが、親しい人との別れに繋がることに頭を悩まし、人から血を吸うことをやめた。彼女は技術の進歩を待つため、棺桶で眠りについていた。

12 (成) 自分が血を吸い、レッサーヴァンパイアにしてしまった女性【“教授” カルネイロ】と会う約束がある。

♠ “教授” カルネイロ

〈社会：アストラル、テクノロジー〉

〈コネ：“教授” カルネイロ〉

7 (成) アサクサにある洋館に向かって以来、足取りが途絶えている。アサクサの洋館のアドレスを入手。

9 (成) マジックアイテムの研究家。特に吸血鬼の造詣が深く、「吸血鬼の棺桶を応用した冷凍睡眠技術」「菊水霊泉を応用した吸血鬼用の無限血液精製機」などを開発、実用化に結びつけている。

11 (成) 素性に関しては謎が多い。開発した技術で得た収入も多くがサロン・ドルファンに支払われており、本人は質素に暮らしている。

◆ ヒラサカ (*7)

〈社会：アストラル、テクノロジー、企業〉

8 (成) 医療用の人工皮膚や生体部品を製造しているバイオ企業。

10 (成) 本当の姿は、魔術やアヤカシの兵器転用を目的としたアストラル軍事企業。

12 (成) 優れた技術者を集めるため、時には強硬手段も辞さない。最近は【“ルドヴィコ”】というエージェントが活動している。

♠ アサクサの洋館の痕跡

〈社会：ストリート、アストラル〉〈知覚〉

8 (成) アルドラが送り込んだ人員が洋館の手入れをした痕跡がある。荒れてはいもの、少し前までは整っていたようだ。

10 (成) 部屋は刃物や魔力、それも《天変地異》級の魔力を用いた戦闘の痕跡がある。比較的最近の痕跡だ。

12 (成) 特に外傷などはないのに、データが消去されたセキュリティカメラを入手する。まるで《神業》のようにデータが消えているが、復元ができる人間(*8)がいれば、データを確認できるだろう。

(*7) ヒラサカ

TOS23p 参照。

(*8) 復元ができる人間

『③ニューロ』のことだが、プレイヤーが2人の場合はタタラかニューロのゲストの〈コネ〉判定に成功すれば復元してくれるものとする。アルファ=オメガ、天國などが候補となるだろう。

そういった〈コネ〉を誰も持っていない場合、〈コネ〉を手配できるフィクサー(ドリス等)でも構わない。アルドラに頼んでもいいだろう。

◆ “ルドヴィコ”

〈社会：アストラル、テクノロジー、企業〉

7 (成) 永生者の吸血鬼。権力欲が強く、夜の世界のみならず、日の当たる世界の支配も目論むカリスマ。彼を支持するアヤカシも多く、サロン・ドルファンとの衝突も近いとされる。

9 (成) 古い考えに囚われず、電腦や最先端技術、経済界への関与を躊躇わないアウトターエッジヴァンパイア。自らもサイバーアップし、電腦に長け、相手の電腦への直接関与と吸血鬼の魅了の魔術を組み合わせた洗脳術を操る。

11 (成) 吸血鬼としての自分を強化するため、マジックアイテムの専門家【“教授” カルネイロ】を追跡していた。

13 (劇) 現在は【ヒラサカ】と連携しており、レッドエリアにあるヒラサカのラボや人材を使って研究支援を行っている。ラボのアドレスを得る。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●時計じかけのブラッド・オレンジ

◆解説

カルネイロを助けるため、敵ゲストと対決する。

◆描写

ヒラサカのラボの扉は怪物じみた力で壊され、セキュリティは無効化されていた。その奥の研究室には、拘束されたカルネイロ。

カルネイロを助けに来たエマは返り討ちに会い、研究室に転がされている。

「返してよ……カルネイロを返してよ……」

呻くエマの頭を踏みつけると、“ルドヴィコ”は不敵に笑う。

「これはこれは、“吸血姫”。“教授”の資料で確認したよ……吸血鬼が吸血衝動を抑えて生きる？ まるで時計じかけのブラッド・オレンジだな。興味があるぞ」

▼セリフ：“ルドヴィコ”

「もしやアルドラの手先か？ 彼女についていても先はないぞ。私のもとに来い。『①アヤカシ』よ」

「ネヴァーランドの子どもたちに雇われた腕利きか。残念だが君の技術に興味はない。殺すことを躊躇わんぞ」

「は、馬鹿な……！ サイバーウェアをインストールし、企業のバックアップを受けた私が貴様ごときに……！」

▼セリフ：“無風剣” 御神楽 凧

「ご主人様の敵は排除します」

「ご主人様……！」

▼セリフ：カルネイロ

「『②パサラ』、お願い……エマ様を助けて……」

▼セリフ：“牙なき吸血姫” エマ

「『①アヤカシ』、ごめんね……勝手なことをして。でも、私、許せなくて……」

◆カット進行

キャストは全員同エンゲージ。

そこから近距離のエンゲージに敵はすべて固まる。

敵は“ルドヴィコ”、“無風剣” 御神楽 凧。PCが3人の場合、ヒラサカ戦闘員（クグツ）を追加する。

◆結末

敵を全員倒すとシーン終了。

NOVAクルード用データ

Ⅰ “ルドヴィコ”

「俺は太陽をも克服してみせるぞ！」

一人称：俺、二人称：君。尊大な口調。全体的に自信家。

永生者の吸血鬼。ヒラサカと連携し、自身をサイバーアップしている。電脳化や経済界への進出に忌避感を持たない電脳世紀の最先端ヴァンパイア。

▼スタイル

アヤカシ○、カリスマ●、ニューロ

▼神業

□霧散 □神の御言葉 □電脳神

▼カット進行で行うスタイル判定

◆カリスマ：精神攻撃

視線を合わせ、精神的に支配する。

♥アヤカシ：白兵攻撃

吸血鬼としての怪力を活かして攻撃する。

◆ニューロ：精神攻撃

電脳に干渉し、動きを止める。

NOVAクルード用データ

Ⅰ “無風剣” 御神楽 凧

「……全てはご主人様のために」

一人称：私、二人称：貴方。“ルドヴィコ”のことは「ご主人様」。機械的なクールビューティ。

剣術と魔術を得意とする巫女。空気の動きを止めて刀の軌道を抑え、再び動力を得る際に爆発的な推進力で相手を切り裂く剣術を得意とすることから“無風剣”の異名を持つ。

吸血鬼“ルドヴィコ”を退廃すべく挑んだが、返り討ちに会い忠実な僕となる。その血が美味だったため吸いつくされておらず、完全な吸血鬼とはなっていない。“ルドヴィコ”の気が向いたときに綺麗な血を提供できるよう、クリアブラッドをインストールしている（“ルドヴィコ”はこれを輸血袋と呼んでいる）。

▼スタイル

パサラ○、カタナ、クグツ●

▼神業

■天変地異 □死の舞踏 ■完全偽装

▼カット進行で行うスタイル判定

◆パサラ：白兵攻撃

魔術の力で攻撃。

♥カタナ：白兵攻撃

刀を振って攻撃。

◆クグツ：白兵攻撃

“ルドヴィコ”の下僕として、敵対者に襲い掛かる。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

ニューロエイジの技術でエマの望みが叶うのか？

基本的に、本エンディングは「叶わない」ということで記載しているが、神業などを使うのであれば（キャストの《タイムリー》などの神業、および《ファイト！》などをカルネイロに使う、など）、エマは血を吸わない吸血鬼としてこの世界に住み着くことになるだろう。

個別の指針は以下の通りとなる。

●『③ニューロ』

「ところであの人たち、本物の吸血鬼だったのですか？」

リーヴィアから礼を言われる。

●『②バサラ』

「この前はありがとうね。そしてごめんなさい。私が吸血鬼だって黙ってて……」

「でもね、エマ様みたいに人間のことを考え、歩み寄るアヤカシだっているのよ。あなたの標的になるのかしら？」

カルネイロから礼を言われる。

エマはまた眠りにつくため、研究の日々を続けることになる。

●『①アヤカシ』

「また眠りにつくけど、今度はきっとカルネイロが何とかしてくれるわ」

「『①アヤカシ』も元気でね！ 次に目を覚ました時もまた遊んでね！」

エマは眠りにつくことになり、アルドラから労いの言葉がある。

「ご苦様でした。しかし今だに、彼女みたいに血を吸わずに生きるという考え方がわかりませんね……あなたはどう思います、『①アヤカシ』？」



キャストの立ち位置について

本シナリオのキャストの立ち位置について。

・『①アヤカシ』

エマとの関係性は自由で、エマが眠りにつく前から知り合いだったことにしてもいいだろう。

・『②バサラ』

所属は不問。聖母殿などの関係者でも問題ない。また、バサラでなくとも構わない。

・『③ニューロ』

必ずしもネヴァーランドの人間である必要はない。リーヴィアが個人的に信頼しているニューロなどの立ち位置で構わない。無論、ネヴァーランドのニューロキッズでも問題ない。

時計じかけのブラッド・オレンジ

“ルドヴィコ”

アヤカシ◎、カリスマ●、ニューロ

▼設定

「俺は太陽をも克服してみせるぞ!」

永生者の吸血鬼。ヒラサカと連携し、自身をサイバーアップしている。電脳化や経済界への進出に忌避感を持たない電脳世紀の最先端ヴァンパイア。

▼神業

☐霧散 ☐神の御言葉 ☐電脳神

▼能力値 / 制御値

♠理性: 4 / 13 ♣感情: 8 / 15
♥生命: 3 / 6 ♦外界: 8 / 14

▼戦闘データ

[CS] 7 [AR] 1
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

2♣♠♥♦ ★心理

▼スタイル技能

3♣♠♥♦ 陣頭指揮 (TNX192)
2♣♠♥♦ SPAM (TNX224)
2♣♠♥♦ O1 フィーリング (TNX224)
2♣♠♥♦ †血脈: 夜の一族 (TOS81)
2♣♠♥♦ †血脈: 夜の一族 (魔性) (TOS81)

▼アウトフィット

・乱波電: 18 / 隠: 15 (TNX244)
体内に直接埋め込むタイプの軍用タップ。
・アーマージャケット電: 12 / 隠: 12 (TNX238)
防 (S/P/I): 1/1/2 普通の衣服に見えるボディアーマー。

▼戦闘プラン

セットアップで〈陣頭指揮〉を使用。[CS] +[判定に使用したトランプの数値]。
マイナーアクションで〈血脈: 夜の一族 (魔性)〉を使用する。
メジャーアクションで〈心理〉(SPAM)〈血脈: 夜の一族〉。達成値+2。精神戦ダメージを与える。この際、与えるダメージは+4される。この攻撃で[昏睡][精神崩壊]を与える場合、代わりに[支配]を与える。
ウェット以外の相手に与えるダメージはさらに+4される。

“無風剣”御神楽 凧

バサラ◎、カタナ、クグツ●

▼設定

「……全てはご主人様のために」

剣術と魔術を得意とする巫女。空気の動きを止めて刀の軌道を抑え、再び動力を得る際に爆発的な推進力で相手を切り裂く剣術を得意とすることから“無風剣”の異名を持つ。

▼神業

☒天変地異 ☐死の舞踏 ☒完全偽装

▼能力値 / 制御値

♠理性: 8 / 14 ♣感情: 2 / 14
♥生命: 8 / 13 ♦外界: 4 / 8

▼戦闘データ

[CS] 9 [AR] 1
[防御力] S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

2♣♠♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

2♣♠♥♦ ハヤブサ (TNX182)
3♣♠♥♦ 強化元力 (TOS84)
3♣♠♥♦ 無風剣 (TNX204)
2♣♠♥♦ †元力: 疾風 (負) (TNX185)

▼アウトフィット

・降魔刀電: - / 隠: 5 (TNX232)
攻: S+4 受: 2 射: 至近
・巫女装束電: 10 / 隠: - (TNX238)
オーディン (TNX250) 相当品
・クリアブラッド電: 22 / 隠: 20 (TNX243)
マイナーアクションで使用する。[BS: 毒]を1つ打ち消す。
ナノマシンによって血液内の毒素を無害なものにするサイバーウェア。

▼戦闘プラン

セットアップで〈ハヤブサ〉を使用。[CS] +[判定に使用したトランプの数値]。
ムーブアクションで相手の至近距離に入り、〈白兵〉〈無風剣〉〈元力: 疾風 (負)〉で攻撃。達成値+4。攻: S+11。1点でもダメージが入ると[BS: 重圧 (理性)]が発生する。

ヒラサカ戦闘員

クグツ3 レベルトループ

▼設定

ヒラサカの戦闘員。

▼能力値 / 制御値

♠理性: 6 / 8 ♣感情: 3 / 7
♥生命: 6 / 8 ♦外界: 4 / 5

▼戦闘データ

[CS] 3 [AR] 1
[防御力] S:1 / P:1 / I:2

▼一般技能

1♣♠♥♦ ★射撃
1♣♠♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

2♣♠♥♦ †葉隠 (TNX207)

▼アウトフィット

・雷牙電: 15 / 隠: 14 (TNX232)
攻: S+2(6) 受: 0 射: 至近
マイナーアクションで()内の数値に変更。荷電磁式ナイフ。
・彗流電: 13 / 隠: 10 (TNX234)
攻: P+5 受: 0 射: 近 マシンピストル
・アーマージャケット電: 12 / 隠: 12 (TNX238)
防 (S/P/I): 1/1/2 普通の衣服に見えるボディアーマー。

▼戦闘プラン

マイナーアクションで雷牙のデータを()内部に変更。
メジャーアクションは〈葉隠〉を対象の距離に合わせて〈白兵〉か〈射撃〉と組み合わせ、雷牙が彗流で攻撃。それぞれ攻: S+12、攻: P+11。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.UL015 『時計じかけのブラッド・オレンジ』

発行日：2017.1.15

執筆（著作権者） ソエジマ

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html